YAGP 2021 Nervi Festival in Italy

ENSURING THE FUTURE OF DANCE
YOUTH GRAND PRIX JAPAN

YOUTH GRAND PRIX 2022 JAPAN

October 19-24, 2021 Amagasaki Archaic Hall

YGP 2022 日本予選参加者の皆様へ

この度は、ユースグランプリ 2022 日本予選にご参加いただき、誠にありがとうございます。

昨年から続いている世界的パンデミックは、特にダンス界に、「歴史上最も不確実な時代の一つであるこの時期に、私たちはどのようにして芸術を実践し続けるのか？」という難題を突きつけました。しかし、この誰にも予測のつかない状況にあって、一つ明らかになったことがあります。それは、このような困難な状況であっても、私たちが心を合わせて一つになれば、どんなことでも乗り越えていけるということです。私たちがダンスを続け、お互いに支え合っている限り、最も困難な時期を乗り越えることができることを、皆さんが経験していると思います。

さて、ここで、YAGP Japan の新名称「Youth Grand Prix Japan」についてご紹介したいと思います。この新しい名称は、Youth America Grand Prix の国際性を反映したもので、YAGP の予選やオーディションイベントが開催される世界各地の地域に敬意を表したものです。名称を変更することにより、YGP はアメリカだけではなく、世界中のダンスコミュニティを反映した包括的なグローバルコミュニティであることを強調したいと考えています。名前が変わっても、YGP Japan はこれまでと同じく Youth America Grand Prix として長年皆様に親しまれてきたグローバルファミリーの一員であることに変わりはありません。

今回も YGP 日本予選参加者の皆さんにお会いできることを、とても楽しみにしています。直接お会いできないのは寂しいですが、私達も世界中の審査員と一緒に遠くから審査に参加いたします。ダンサーはもちろん、ご家族、先生方、スタッフの健康と安全を最優先に考え、今年も以前とは少し違った方式にはなりますが、ダンス芸術、そして YGP 日本予選に参加されるダンサーの皆様へ向ける私達の熱意は変わりません。

いつものように、YAGP ファミリーの一員である参加者、その先生方、ご両親、参加スタジオの皆さんに感謝したいと思います。皆様のご参加とダンスへの献身があったからこそ、YAGP は世界最大のバレエコンクールに、そして世界有数のダンス教育プログラムに成長することができました。 心より御礼申し上げます。

また、株式会社シルビア様には、長きにわたり YAGP をご支援いただき、各部門の上位入賞者に賞金をご提供いただきました。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

このような厳しい状況下でも、今年も再び関西で開催できることを大変嬉しく思います。YGP2022 日本予選において、才能ある日本の参加者の皆さんが多くのことを学ばれ、アーティストとしての成長と発展の重要なステップとなることを願っています。

最後になりましたが、このコンクール開催にあたって、色々とご尽力くださった指導者の先生方、参加者の皆さん、またそのご家族の皆様、ほか関係者各位に厚く御礼申し上げます。

YAGP 芸術監督／共同創設者
ラリッサ＆ゲナディ･サヴェリエフ

© STAFF TES

ユース・グランプリ (アメリカ)　芸術監督／共同創設者
ラリッサ・サヴェリエフ　Larissa Saveliev

モスクワのボリショイ・バレエ・アカデミーで学ぶ。ボリショイ・バレエ団のメンバーとして、ロシア国内はもとより、ヨーロッパ、ブラジル、エジプト、日本等の海外公演にて高い評価を得る。数々のクラシック作品やユーリ・グリゴロビッチ、ジョージ・バランシン、アントニー・チューダー、アニュ・ドゥ・ミルなどによる作品で主要な役を踊る。1995 年にアメリカに移ってからは、ロサンゼルス・クラシカル・バレエ、ニュージャージー・バレエ、タルサ・バレエなどで活躍した。1999 年にはプリンセス・グレース・アワードのために振付をする。また、2003 年キーロフバレエ団アメリカツアーの際には、子供達の作品でキャスティング・ディレクターをつとめた。アメリカ国内のバレエ教育に多大な貢献をし、様々な学校で首席教師を務め、クラシックバレエ作品の演出も手がける。

ユース・グランプリ (アメリカ)　芸術監督／共同創設者
ゲナディ・サヴェリエフ　Gennadi Saveliev

スクール･オブ･アメリカン･バレエ、ボリショイ･バレエ･アカデミーで学び、ピョートル･ペストフ、スタンリー･ウィリアムズに師事する。ボリショイ･バレエ団で踊ったのち、1996 年、ＮＹ国際バレエコンクールで銀メダルを受賞、アメリカン･バレエ･シアターに入団する。16 年間に渡る在籍期間中には、バレエ団とともに、またゲスト･アーティストとして北南米、ヨーロッパ、ロシア、日本で踊った。また、“アンヘル･コレーラ＆フレンズ”、“アレクサンドラ･フェリ＆フレンズ”“イーサン･スディフィル＆スターズ”のメンバーとしてもツアーを回った。ユーリ･グリゴロヴィッチ、ラー･ルボヴイッチ、ケヴィン･マッケンジー、ペン･スティーブンソン、ジョン･ノイマイヤー、トワイラ･サープなど様々な振付家の作品にも出演する。また、ニナ･アナニアシヴィリ、ディアナ･ヴィシニョーワ、ジュリーケント、アレクサンドラ･フェリ、スーザン･ジヤフィー、パロマ･ヘレーラなどのパートナーを務め、白鳥の湖、くるみ割り人形、ジゼル、眠れる森の美女、ライモンダ、コッペリア、レ･シルフィード、海賊、ドン･キホーテなど、数々の作品で主役を踊った。現在、ABT スタジオ・カンパニーで教え、またゲスト･マスター･ティーチャーとしてもアメリカのみならず世界中で活躍している。

【審査員】

オスロ国立芸術大学（ノルウェー）　教授、クラシック・バレエ学部長

ティム・アルマース　Tim Almaas

© Christian Tviberg

ロイヤル・スウェーディッシュ・バレエ・スクールで学ぶ。1980 年卒業後、ロイヤル・スウェーデン・バレエに入団し、1983 年ソリストとしてベルリン・ドイツ・オペラ・バレエに移籍。1985 年、ロンドン・フェスティバル・バレエ (LFB)に加わり、1987 年、ロンドン・シティ・バレエのプリンシパルとなる。翌年、LFB（現イングリッシュ・ナショナル・バレエ）にプリンシパルとして復帰し、1994-1997 年にはフリーとして世界中で客演する。その後、ピーター・シャウフス・バレエの創設メンバーとなり、プリンシパル、バレエ・マスターとして活躍。クラシック・ダンサー引退後も、2012 年まで同団でゲスト・アーティストとして踊る。そのレパートリーは多岐にわたり、多くの偉大なるダンサー、振付家とともに活動する。これまで 20 年以上指導にあたり、ロイヤル・スウェーディッシュ・バレエ、ランベール・ダンス・カンパニー、シティ・バレエ・オブ・ロンドンで教える。ロンドンのセントラル・スクール・オブ・バレエ（2000-2002 年）、ロイヤル・スウェーディッシュ・バレエ・スクール（2002-2013 年）の教師を務めたあと、オスロ国立芸術大学の准教授となる。また、セントラル・スクール・オブ・バレエ、ロイヤル・スウェーディッシュ・バレエ・スクール、オスロ国立芸術大学で多くの作品を振り付ける。2016 年にクラシック・バレエ学部教授となり、2019 年より現職。

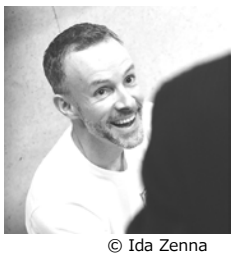
サンフランシスコ・バレエ・スクール（アメリカ）　校長

パトリック・アルマン　Patrick Armand

フランス、マルセイユ生まれ。ルディ・ブライアンズ、母コレット・アルマンに師事し、マルセイユ・ダンス・スクールで学ぶ。1980 年ローザンヌ国際バレエ・コンクールで入賞後、スクール・オブ・アメリカン・バレエやカンヌ・ロゼラ・ハイタワー・インターナショナル・ダンス・センターで学ぶ。1981 年、フランス国立ナンシー・バレエ入団。1983 年、プリンシパルに昇進し、ローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされる。1984 年より 6 年間、ロンドン・フェスティバル・バレエ(現イングリッシュ・ナショナル・バレエ)で活躍後、1990 年、ボストン・バレエに入団。また、ゲストとして、オーストラリアン・バレエ、キーロフ・バレエ、ベルリン・ドイツ・オペラなどと共演する。2002 年よりマルセイユのコレット・アルマン・バレエ・スタジオのディレクターを務める。ローザンヌ国際バレエ・コンクールでは、審査員(1998、2009 年)、男子の公式教師およびコーチ(2010 年~)を務める。2006 年よりミラノ・スカラ座バレエで教師、バレエ・マスターを務めた後、2010 年、サンフランシスコ・バレエ・スクール・トレーニー・プログラム主任となり、バレエ団でも指導にあたる。2012 年アソシエイト・ディレクターに昇進、2017 年より現職となる。

ドレスデン・パルッカ・ダンス大学（ドイツ）　学長

ジェイソン・ビーチー　Jason Beechey



© Ida Zenna

カナダ·ナショナル·バレエ・スクール、ワガノワ·バレエ·アカデミー（サンクトペテルブルク）、スクール·オブ·アメリカン・バレエ（NY）で学ぶ。ロンドン·シティ·バレエでソリストとして踊った後、ベルギーのシャルルロワ／ダンスにて 15 年間活躍した。それと並行して、ワロニア・ブリュッセル財団振付センターの教育監督を務め、自身のスタジオ「ザ・ロフト」を設立、経営する。また、フレデリック・フラマン、ウィリアム・フォーサイス、ウエイン・マクレガー、アンジュラン・プレジョカージュらの芸術監督の元、D.A.N.C.E.プログラムのクリエイター／コーディネーターを務める。2009 年ローザンヌ国際コンクールの芸術委員会のメンバーに加わり、芸術アドバイザーとしての役割を担っている。また、例年、ユース・アメリカ・グランプリの審査員を務めている。2006 年より、ドレスデン・パルッカ・ダンス大学の校長を務める。

バーゼル劇場バレエ・スクール（スイス）　芸術監督

アマンダ・ベネット　Amanda Bennett

© Ismael Lorenzo

アメリカ・テキサス州生まれ。ニューヨークのスクール・オブ・アメリカン・バレエで学ぶ。G. バランシンが芸術監督を務めるジュネーブ・グラン・テアトル・バレエ団で踊り、1978-1989 年にはプリンシパル・ダンサーとしてバーゼル・バレエ団で、1989-1990 にはペンシルバニア・バレエ団で活躍する。その後、ゲスト教師、バレエ・ミストレス、振付アシスタントとして世界中で指導にあたる。アメリカン・バレエ・シアター・ナショナル・トレーニング・カリキュラムの認定教師でもある。また、様々な国際コンクールの審査員も務め、2012 年には、ローザンヌ国際バレエコンクールの芸術監督に就く。2001 年よりバーゼル・バレエ・スクール校長およびバーゼル・バレエ団教師を務め、EFZ （連邦能力取得証明コース） の導入のために尽力する。2015 年 6 月、バーゼル・バレエ・スクール校長としてその功績が認められ、ハインツ・スポエルリ財団より賞が授与された。

ミュンヘン国立バレエ・アカデミー（ドイツ）　校長

ヤン・ブルックス　Jan Broeckx

© Francette Levieux

ベルギー・アントワープ生まれ。8 歳よりバレエを始める。1978 年ローザンヌ国際バレエコンクール入賞。フランダースバレエ団(ソリスト)、ベルリン国立歌劇場バレエ、バイエルン国立歌劇場バレエ(ファースト・ソリスト)で踊った後、1987 年よりフランス国立マルセイユ・ローラン・プティ・バレエ団のエトワールとなる。ゲスト・アーティストとしても世界中の名だたるバレエ団、ガラ公演に出演する。1995 年よりマルセイユバレエ学校で教え、またローラン・プティのアシスタントとして、数々のバレエ団での作品上演に携わる。2002 年以降、ミラノスカラ座をはじめ、様々なバレエ団でバレエ・マスター、ゲスト・ティーチャーを務め、2010 年 9 月よりミュンヘン国立バレエ・アカデミーの校長となる。

カンヌ・ムージャン・ロゼラ・ハイタワー国立高等ダンス・センター（フランス）　芸術監督

パオラ・カンタルポ　Paola Cantalupo

© I.Blanco

イタリア出身。ミラノ･スカラ座で学ぶ。ローザンヌ国際バレエコンクールでは金賞を、ジャクソン国際コンクールでは銅賞を受賞し、モーリス・ベジャール 20 世紀バレエ団、ジョン・ノイマイヤーのハンブルク･バレエに入団する。1 年間ニューヨークでチケッティ、リモン・メソッドを学んだ後、ポルトガル国立バレエにプリンシパルとして入団、1988 年にモンテカルロ･バレエに移る。クラシックのレパートリーはもちろん、数多くの振付家の作品を踊る。1989 年、ハノーファー公妃よりモンテカルロ･バレエのエトワールに任命され、2009 年まで同バレエ団で活躍。モナコ文化勲章シュヴァリエ章を受章する。パリのフランス国立ダンスセンター（Pantin）　での教師養成コース修了後、現職となる。以来、フランス文化省の要請を受け、地中海地域におけるダンス発展のために尽力している。またローザンヌ国際バレエコンクールの芸術委員会の一員であり、ダンス医学調査会（ADMR）の副会長も務める。

英国ロイヤル・バレエ・スクール（イギリス）　アーティスティック・マネージャー

ホセ・カラヨル　José Carayol

国費奨学金を得て、スペインの Real Conservatorio Profesional de Danza de Madrid で学び、ヴィクトール・ウラテ、カルメン・ロシュ、オーランド・サルガドに師事する。世界中のカンパニーで踊り、クラシックからコンテンポラリーまで、そのレパートリーは多岐にわたる。ダンサーとしてのキャリアの後半は、教えることにフォーカスするようになり、NY で ABT ナショナル・トレーニング・カリキュラム・ティーチャーズ・コースを履修する。卒業後は、ABT® Project Plie プログラムのアソシエイト・ティーチャーとなり、クラシックバレエ芸術への情熱を若い世代に伝えながら、アメリカ国内のダイバーシティ＆インクルージョン（多様性を重んじ、個々の格差を持たせない教育方法）をサポートすることを目的としたプログラムを実施する。また、ロサンゼルス・バレエ・アカデミーでは、コンサバトリー・プログラムとメンズ・プログラムの教師兼責任者を務める。その間、南カリフォルニアでプロコースの生徒を育てる環境を整えながら、男子プログラムをさらに発展させるために重要な役割を果たす。2019 年より、シカゴのジョフリー・バレエのスタジオ・カンパニーおよびトレイニー・プログラム主任を務め、2021 年より現職となる。

イングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクール（イギリス）　芸術監督

ヴィヴィアナ・デュランテ　Viviana Durante

イタリア・ローマ生まれ。 6 歳からバレエを始める。10 歳で英国ロイヤル・バレエ学校入学。1984 年 17 歳で英国ロイヤル・バレエに入団。3 年後ソリストに昇進し、「ロミオとジュリエット」や「シンデレラ」の主役を踊る。1989 年 21 歳でバレエ団最高位のプリンシパルとなり、同世代で最も優れたドラマティックなバレエダンサーとして称される。さらにはアメリカン・バレエ・シアター(1998-1999 年シーズン)、ミラノ・スカラ座バレエ、日本のＫバレエカンパニーでプリマ・バレリーナとなった(1999 年)。マクミラン・バレエの演劇的要素を持つヒロインを得意とする一方、「眠れる森の美女」などのクラシック作品においても、洗練され繊細な表現力を発揮するダンサーであった。英国ロイヤル・バレエ・スクールでバレエ指導法のディプロマ、トリニティ・カレッジ・ロンドンでバレエ教育および学習法のディプロマを取得。現在は世界各国でバレエ指導と教育にあたっている。2019 年、イングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクールのダンス・ディレクターに任命され、2020 年より現職となる。

アントワープ王立バレエ・スクール（ベルギー）　副芸術監督

ケヴィン・ドゥールワエル　Kevin Durwael

1998 年にアントワープ王立バレエ・スクールを卒業後、NDT2（ネザーランド・ダンス・シアター）に入団し、イリ・キリアン、ソル・レオン、ポール・ライトフット、オハッド・ナハリンらの作品を踊る。1999 年、ベルギー王立ロイヤル・フランダース・バレエ団に移籍し、ウィリアム・フォーサイス、デイヴィッド・ドーソン、マルシア・ハイデ、クリスチャン・シュプック、ヨルマ・エロらと活動する。ダンサーとして活躍する傍ら、フランス、ポーランド、イタリア、トルコ、日本、アメリカ、チェコ、イスラエル、南アフリカなど世界中でマスタークラスを教える。YAGP、ヴァルナ国際バレエコンクール、タンツオリンプ、ヘルシンキ国際バレエコンクールなど様々な国際コンクールのために、数々のソロ、アンサンブル作品を振付する。2012 年、アントワープ芸術大学を舞踊講師のディプロマを取得して卒業する。アントワープ王立バレエ・スクールでは、クラシック・バレエ、男子クラス、パ・ド・ドゥ、レパートリー、コンテンポラリー・ダンス、振付を教え、アメリカン・アカデミー・オブ・バレエのゲスト・ティーチャー及び振付家でもある。

ジョフリー・アカデミー・オブ・ダンス（アメリカ）　コンサバトリー&プリ・プロフェッショナル・プログラム　主任

キャレン・エリス・ウエンツ　Karin Ellis-Wentz

© Cheryl Mann

カリフォルニア州サラトガで育つ。ローザンヌ国際コンクールでは二度、セミファイナリストに選ばれ、86 年にはドイツ・ミュンヘンのハインツ・ボスル財団へのスカラシップを得る。87 年、アトランタ・バレエに入団する。88 年からは、7 年間、オランダ国立バレエに在籍し、グラン・スジェまで昇格する。95 年、ボストン・バレエに移籍する。その後、99 年からの 11 年間は、アメリカン・バレエ・シアター　（ABT）　に在籍し、クラシックからコンテンポラリーまで、様々な作品でソリストやプリンシパルの役を踊り、活躍する。また、ABT の教師養成コースを修了した ABT 公認教師であり、Stott ピラティス公認インストラクターの資格も有する。現役中から NY 全域で子供や大人にバレエを教え、ABT 引退後は、NY フィルム・アカデミーのミュージカル・シアター・スクールや ABT サマー・インテンシブ　（NY）　などで教える。12 年にシカゴに移ってからは、シカゴ芸術高校のダンス教師となる。13 年にジョフリー・バレエ・アカデミーの教師となり、16 年 6 月より現職を務める。

ヨーロピアン・スクール・オブ・バレエ（オランダ）　創設者／校長

ジャン・イヴ・エスキュール　Jean-Yves Esquerre

© Olivier Wecxsteen

ブリュッセルのムードラで学んだ後、20 世紀バレエ団、ハンブルク・バレエ、ネザーランド・ダンス・シアターで活躍する。1986 年、ヌレエフ創設のルーヴル・バレエのバレエマスターとなり、翌年にはモンテカルロ・バレエの芸術監督となる。また、1993 年以降、ダンサーの怪我の予防や手術後のリハビリのために考案された治療目的のダンス・エクササイズ・プログラムを開発。ダンサーが自分の体や心と向き合いながらできるエクササイズの指導を行っている。ゲスト教師として各国の有名バレエ団、学校で教え、ローザンヌ国際バレエコンクールなど数々の国際バレエコンクールで審査員、審査員長を務める。2007-2010 年、サンフランシスコ・バレエで様々な任務に就き、2008 年には芸術監督補佐となる。2010 年以降、カナダ政府の委任を受け、各バレエ学校で芸術評価を行う他、ベジャール・バレエ・ローザンヌ、ロイヤル・バレエ・スクールなどで色々な作品の演出を行う。2014-2018 年、オランダ国立バレエ学校の芸術監督を務め、国際的な評価を得る。2018 年、ヨーロピアン・スクール・オブ・バレエを創設する。

マリインスキー劇場バレエ（ロシア）　芸術監督

ユーリ・ファテーエフ　Yuri Fateev

© Holger Badekow

レニングラード生まれ。ワガノワ・バレエ・アカデミーで学び、1982 年、卒業と同時にキーロフ（マリインスキー）・バレエに入団する。そのレパートリーは多岐にわたり、ジゼル、バヤデール、パキータ、白鳥の湖、ロミオとジュリエット、天地創造、ル・カルナヴァル、ラ・フィーユ・マル・ガルデ、虎の皮の勇士、コッペリア、その他、様々な作品を踊る。1996 年、マリインスキー・バレエの指導者となり、ジョージ・バランシン、ローラン・プティ、ジョン・ノイマイヤー、アレクセイ・ラトマンスキー、ウィリアム・フォーサイス、クリストファー・ウィールドン、ホセ・アントニオらによる振付作品の初演に携わる。英国ロイヤル・バレエ、ボリショイ劇場のゲスト教師を務め、パリ・オペラ座バレエ、スウェーデン王立バレエ、パシフィック・ノースウェスト・バレエでもマスタークラスを教える。デンマーク王立バレエでは、海賊のハイライト作品の演出も手がける。また、「キング・オブ・ダンス」「スティフィル・アンド・スターズ」などのプロジェクトに関わり、演出も手掛ける。2008 年より現職となり、2010 年にはロシア功労芸術家に選出される。

アントワープ王立バレエ・スクール（ベルギー）　芸術監督

カーティス・フォーリー　Curtis Foley

カナダ生まれ。カナダ・ナショナル・バレエ・スクール、ロイヤル・ウィニペグ・バレエ・スクールで学び、ロイヤル・ウィニペグ・バレエ、バンフ・センターなどで踊る。2007 年より 5 年間、NY のトロカデロ・バレエ・グランディーバでソリストを務める。引退後は、カナダ国立バレエ、シュトゥットガルト・バレエ、チューリッヒ・バレエほか、世界有数のバレエ団で指導にあたる。2016～2019 年には、ポーランド国立バレエ団のバレエ・マスターとして、W. マクレガー、J. ノイマイヤー、T. V. シャイクのバレエ作品を上演したほか、K. パストール、A. ホップ、英国ロイヤル・バレエの L. スカーレットの世界初演作品の創作を支援する。現在、チェコ国立モラヴィアン・シレジアン・シアターのバレエ・マスターを務め、国際的なゲスト・ティーチャーとして、ブリティッシュ・コロンビア・アーツ・カウンシルやパフォーミング・アーツ・ブリティッシュ・コロンビア州選手権シニア・バレエ部門の審査員を務め、カナダ・ダンス・ティーチャー・アソシエーションやサイモン・フレーザー大学でマスター・クラスを行う。2021 年 9 月 1 日、現職に就任。

アルバータ・バレエ・スクール（カナダ）　トレイニー・プログラム　ディレクター

アラム・マヌキアン　Aram Manukyan

© PMG-Image Paul McGrath

アルメニア振付アカデミーにて、ワガノワ・メソッドを学ぶ。卒業後は、アルメニア国立バレエ、ウクライナ国立ドネツク歌劇場バレエ、インディアナポリス・バレエ・インターナショナル、シンシナティ・バレエ、サラソタ・バレエをはじめ、数々のバレエ団でソリストおよびプリンシパルとして活躍する。また、その指導の才能が認められ、モスクワのロシア国立舞台芸術大学（GITIS）の奨学生として選出される。マスター・ティーチャーとして多くの名門バレエ学校で指導にあたるほか、YAGP をはじめ数多くの国際バレエコンクールの審査員も務める。2007 年よりアルバータ・バレエ・スクールでバレエ教師を務めるが、プロのダンサーとしての幅広い経験とマスター・ティーチャーとして世界中で指導にあたってきた経験から、スクールに独自の視点をもたらしている。2014 年 7 月、アルバータ・バレエⅡ設立に際し、プログラム・ディレクターに任命され、2017 年より現職を務める。

モナコ王立プリンセス・グレース・アカデミー（モナコ）　芸術監督

ルカ・マサラ　Luca Masala

ミラノスカラ座バレエ学校、スクール・オブ・アメリカン・バレエ、モナコ王立グレースバレエ学校で学び、ベルギー王立フランダース・バレエ、ナンシー・バレエ団、ヘッセン州立ヴィースバーデン・バレエ団、バイエルン国立バレエを経て、2000 年よりトゥールーズ・キャピトル劇場バレエで活躍する。クラシック・バレエのみならず、ネオクラシックバレエ作品でも全ての主要なパートを踊り、スタンリー・ウイリアムス、ウラジミール・ヴァシリエフ、アルヴィン・エイリー、ミハイル・バリシニコフ、ウィリアム・フォーサイス、イリ・キリアン、ジョン・ノイマイヤー、モーリス・ベジャールなど、名だたる振付家の作品に多数出演する。その後、バレエマスターとして様々な作品の上演に携わる一方、「Sang Mele」「Christs Lament」「The Seven Deadly Sinns」「Nougaro」など自身の作品を振り付ける。2009 年には、トゥールーズ・キャピトル劇場バレエのナネット・グリシャックによるコッペリア初演の助手を務める。同年、現職に任命される。

シュツットガルト・バレエ　ジョン・クランコ・スクール（ドイツ）　校長

タデウス・マタチ　Tadeusz Matacz

ポーランドのワルシャワで生まれ、ワルシャワの国立バレエアカデミーにてバレエを学ぶ。また同校では、レオニード・ジダーノフのもと、教育法も習得する。1977 年、ダンサーとしてワルシャワ大劇場に入団し、また同時に、ワルシャワ·バレエ·スクールでバレエ教師も務めることとなる。1979 年から 1984 年までの間、ワルシャワ大劇場でプリンシパル・ダンサーとして活躍する。1984 年から 1992 年までは、カールスルーエ（ドイツ）のバーデン·ステート·シアターでソリストとして踊る。そこでは 1988 年から指導にもあたり、1992 年から 1998 年まで、バレエマスター、振付家を務める。1990 年から 1998 年の間には、ゲスト・ティーチャーとしてフランクフルト・バレエ、トゥールーズ·バレエ、ワルシャワ大劇場で指導に当たり、1997 年から 1998 年にはシュツットガルト・バレエでも教える。1999 年 1 月よりジョン・クランコ・スクールの校長を務め、また数々の名だたる国際バレエコンクールで審査員を務めている。

チューリッヒ・ダンス・アカデミー（スイス）　校長

オリヴァー・マッツ　Oliver Matz

© Bettina Stöss

ベルリン国立バレエ学校で学び、マルティーヌ・プテュケに師事する。1980 年、ベルリン・ドイツ・オペラ・バレエ団に入団後、第 1 ソリストおよび国際大使として 25 年に渡り活躍する。ヴァルナ国際バレエコンクール銅メダル、ヘルシンキ国際バレエコンクール、ジャクソン国際バレエコンクール金メダルを受賞するなど様々なバレエコンクールで好成績を収める。多くの著名な振付家の作品を踊り、世界中のバレエ団やガラにゲスト出演した経験も持つ。その高い功績が認められ、1995 年には、“Berliner Kammertanzer”の称号が授与され、2004 年には、ベルリン国立歌劇場名誉会員となる。現在は、校長としての職務の傍ら、男子クラスの教師としても非常に高い指導力を発揮しており、その生徒達は世界有数のバレエ団で活躍し、数々の有名国際バレエコンクールで上位入賞を果たしている。また、YAGP をはじめ、様々な国際バレエコンクールの審査員も務める。

オランダ国立バレエアカデミー（オランダ）　芸術監督

オランダ国立バレエ ジュニア・カンパニー（オランダ）　アーティスティック・コーディネーター

アーンスト・マイスナー　Ernst Meisner

© Sebastien Galtier

オランダ国立バレエアカデミーで学び、その後、英国ロイヤル・バレエ、オランダ国立バレエで活躍する。2013 年以来、オランダ国立バレエ・ジュニア・カンパニーのアーティスティック・コーディネーターを務める。それに加え、2018 年よりオランダ国立バレエアカデミーの芸術監督も務める。オランダ国立バレエ、ジュニア・カンパニー、ニューヨーク振付学院（ニューヨーク・シティ・バレエの一部）、ロイヤル・バレエ・ニューワークス・プログラム、イングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクールをはじめ、様々なスクール、カンパニーで振付を行う。特に、ISH 芸術監督マルコ·ゲリスとコラボレーションしたヒップホップとバレエの融合作品 Narnia: de Leeuw, de Heks en de Kleerkast,（2014）、GRIMM,（2018）では、非常に高い評価を得る。また、ゲスト・ティーチャーとして、イングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクール、英国ロイヤル・バレエ・スクール・サマースクール、コリアン・ユース・バレエ・スターズ、ユース・アメリカ・グランプリなど世界中で指導にあたる。

オーストラリアン・バレエ・スクール（オーストラリア）　校長

リサ・パヴァーン　Lisa Pavane

1978 年、オーストラリアン・バレエ・スクールに入学、その後 1981 年にオーストラリアン・バレエに入団する。1983 年にソリストに昇格し、1986 年にはプリンシパル・アーティストとなる。また、ボストン・バレエ、キーロフ・バレエ、バーミンガム・ロイヤル・バレエなど、様々なバレエ団のゲスト・アーティストとしても活躍し、日本での第 6 回および第 7 回世界バレエフェスティバルや、ブタペストでのミュンヘン国立オペラ・バレエの公演にも出演する。1994 年、シニア・プリンシパル・バレリーナとしてイングリッシュ・ナショナル・バレエに入団し、様々な作品を踊る。現役引退後は、イングリッシュ・ナショナル・バレエで働きつつ、フリーの教師として指導にあたる。2001 年オーストラリアに戻り、2007 年にクラシック教師として、オーストラリアン・バレエ・スクールに加わる。その後、様々な役職を経て、2015 年より校長を務める。

トニー賞候補女優、元アルビン・エイリー　ダンサー、ダンス教師

カリーン・プランタディット　Karine Plantadit

© Hosea Johnson

アフター・ミッドナイト（コフィン）をはじめ、カム・フライ・アウェイ（ケイト）、ムービン・アウト（ブレンダ、ジェシカ）、ライオン・キング（チーター、ライオン）、サタデー・ナイト・フィーバー（シャーリー・チャールズ）といった数々のブロードウェイ作品に出演する。セックス・アンド・ザ・シティ、ソー・ユー・シンク・ユー・キャン・ダンス、スマッシュ、ジ・アフェアなどのテレビ番組や、フリーダ（ジョセフィン・ベイカー）、ステイ、シカゴ、アクロス・ザ・ユニバース、ブラック・ネイティビティなどの映画作品にも多数出演する。また、ジャン・コクトーの「人間の声」を基にしたワン・ウーマン・ショウ「声」に出演し、NY 市立博物館で上演されたキャバレー作品では、ジョセフィン・ベイカーとレナ・ホーンを演じる。カム・フライ・アウェイでは、トニー賞、アステア賞、ドラマ・リーグ賞にノミネートされ、14 年にはアフター・ミッドナイトで、アステア賞を受賞する。また最近では、「ネイル・ユア・オーディション」を立ち上げ、全てのアーティストがオーディションで輝けるようサポートをしている。

英国ロイヤル・バレエ・スクール（イギリス）　芸術監督

クリストファー・パウニー　Christopher Powney

ノーザン・バレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、ランバート・ダンス・カンパニーで活躍。様々な振付家の作品に主役として出演し、多くのアーティストと共演する。現役時代から指導に関心を持ち始め、英国ロイヤル・バレエ・スクールにて Professional Dancers Teachers' Course （プロのダンサー対象の指導者養成コース）を修了する。セントラル・スクール・オブ・バレエでは、卒業学年生によるツアー・カンパニーの芸術監督を務める。2000 年には、クリストファー・ゲーブルの功績を称えるガラ開催のために助力し、出演もする。また、同年、ゲイリーン・ストックに招聘され、英国ロイヤル・バレエ・スクールの教師陣に加わり、アッパー・スクール 2 年生男子を教える。その後、2006 年、ハーグ王立コンセルヴァトワール舞踊科にて、卒業学年の教師となる。2010 年、オランダ国立バレエアカデミーの芸術監督に任命され、ジュニア・カンパニーやアムステルダム国際サマースクールの設立に携わる。ローザンヌ国際コンクールや YAGP ほか、様々な国際コンクールに招かれ、審査員として参加する。2014 年より現職を務める。

ベルリン国立バレエ学校（ドイツ）　芸術監督

マレク・ルーズィツキー　Marek Rózycki

© Johann Sebastian Hänel

ポーランド出身。ポズナン国立バレエスクールで学び、ポーリッシュ・ダンス・シアター、ブレマー・ダンス・シアターで踊る。1982 年ベルリン・ドイツ・オペラ入団し、のちにファースト・ソリストに昇格。ベルリン国立バレエでは、ファースト・ソリスト、バレエ・マスター、バレエ教師、振付家として多くの経験を積む。また、デンマークのピーター・シャウフスのカンパニーで、ファースト・バレエ・マスター及び振付助手を務める。その後、パリ国立ダンスセンターの教育学及び振付研究所で学び、クラシックダンスの教授としての国家資格を得る。ライン・バレエではゲスト・ティーチャーを務め、ストラスブルクのレジオン国立舞踊学校ではクラシックダンスの教授として指導にあたる。ベルリンに戻り、コーミッシュ・オーパーのベルリン・バレエ・カンパニーで副芸術監督及びファースト・バレエ・マスターを務める。現在は、振付家やゲスト・ティーチャーとしても精力的に活動し、映画、写真、美術、音楽など、別の芸術分野とのコラボレーションにも意欲的に取り組んでいる。

元ドレスデン・ゼンパーオペラ　プリンシパル、YUMIKO ダンスウェア創立者

竹島 由美子　Yumiko Takeshima

© Joris Jan Boss

北海道旭川市に生まれる。札幌、石川みはるバレエ研究所でバレエを学ぶ。サンフランシスコ・バレエ・スクールに留学し、オランダ国立バレエ、ドレスデン・ゼンパーオペラ・バレエをはじめ、世界各国のバレエ団でプリンシパルとして活躍する。1996 年には、キエフ国際バレエコンクール金賞を受賞する。様々なクラシック作品の主役の他、W. フォーサイス、D. ドーソン、H. ヴァン・マネン、J. キリアン、J. ノイマイヤー、G. バランシンなどの作品を踊る。また、衣装デザイナーとして、W. フォーサイス、D. ドーソン、J. エロ、G. バランシン、A. ラトマンスキーなど、多数の振付家の衣装を手がける。2008 年には、ゼンパーオペラ・バレエ、D. ドーソン振付によるジゼル全幕の衣装デザインをし、主役も踊る。2003 年には YUMIKO ダンスウェア会社を設立し、全てのダンスウェアをデザインする。NY、東京、ベルリンにブティークをオープン。2008 年、マドンナ "Sticky & Sweet" ワールドツアーのためにウェアを提供する。映画 "Fame"、そして "Black Swan" では、N. ポートマンをはじめ、多数のダンサーが YUMIKO を着用する。

【ゲスト講師】

東京国際高等バレエ学校　クラシック主任教師、フェーヤ　芸術監督

ダーナ・バクンチク　　Dana Bakunchyk

ベラルーシ国立舞踏学校卒業後、ベラルーシ・ボリショイ・アカデミー・オペラ・バレエ劇場ダンサーとなる。現在、東京国際高等バレエ学校クラシック主任教師及びフェーヤ芸術監督として活躍している。

ダンサー、教師、元ベラルーシ国立ボリショイ・バレエ団　プリンシパル

アレクサンドル・ブーベル　　Aleksandr Buber

ベラルーシ国立バレエ学校を首席で卒業後、ベラルーシ国立音楽大学文化部バレエ科卒業。
2001 年、ベラルーシ国立ミンスクボリショイバレエ団に入団し、2003 年にはプリンシパルに昇格する。ヴァルナ国際バレエコンクール審査委員長賞をはじめ数々の賞を受賞する。2006 年、K バレエカンパニーに入団。2008 年 11 月退団後、フリーとして活動を開始し、バレエコンクールの審査員をはじめ講師、振付家としても活躍する。2010 年には、全日本バレエ育成振興会・バレエ冬期講習会の講師も務め、NPO 法人セェリ・ユース・バレエ団の芸術監督に就任する。2011 年、渡部ブーベルバレエアカデミーを開所する。現地で取得したワガノワ・メソッドによるバレエ教授法、バレエ・マスターの免許に基づいた指導には定評がある。

LEV sharon eyal|Gai bachar　ダンサー

柿崎 麻莉子　　Mariko Kakizaki

© chikashi suzuki

香川県生まれ。幼少期は新体操に励み、筑波大学入学後コンテンポラリーダンスと出会う。2012 年、イスラエルのダンスカンパニー「Batsheva Dance Company ensemble」に入団する。2015 年、「L-E-V Sharon Eyal | Gai Behar」に入団し、世界ツアーと並行して各国でワークショップを行う。2011 年、韓国国際ダンスフェスティバル(KIMDC) にて金賞受賞。2013 年 、香川県文化芸術新人賞受賞、KAGAWA アンバサダーに委嘱される。2014 年、Jerusalem Dance week competiton にて振付作品が受賞。2020 年、2021 年には、日本ダンスフォーラム賞を受賞する。

ダンサー、振付家、元 NDT1 ダンサー、Dance Base Yokohama アーティスティック・コーディネーター

小尻 健太　　Kenta Kojiri

© Carl Thorborg

3 歳からクラシックバレエを始め、1999 年ローザンヌ国際コンクールのプロフェッショナルスカラーシップ賞受賞をきっかけにヨーロッパでプロダンサーとしてキャリアを踏み始める。モナコ公国モンテカルロバレエ団を経て、世界的振付家イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンスシアター（NDT1）に日本人男性として初めて入団を果たし高い評価を得る。現在は日本を拠点に『Study for Self/portrait』(原美術館)、『The Threshold』(ゲーテ・インスティトゥート東京) を発表するなど創作活動を軸に、シルヴィ・ギエム「6000 Miles Away」、スウェーデン王立バレエ団、Noism などに客演。また国内外のバレエ学校のゲスト講師、オペラやミュージカルの振付、フィギュアスケート日本代表選手の表現指導、さいたまダンスラボラトリ(彩の国さいたま芸術劇場)の講師／ナビゲーター 、2020 年より Dance Base Yokohama ダンスエバンジェリスト(アーティスティックコーディネーター)を務めるなど多岐にわたる。

元プリンシパル・ダンサー、芸術監督、振付家、スタジオアーキタンツ　マスター・ティーチャー

マイケル・シャノン　　Michael Shannon

© Denis Gronostayisky

スカラシップを得て、スクール・オブ・アメリカン・バレエ、ナショナル・バレエ・スクール・オブ・カナダ、ハンガリー国立バレエアカデミーで学ぶ。また、アメリカ人初のボリショイ・バレエ・アカデミー卒業生であり、1917 年のロシア革命以来、外国人として初めてボリショイ・バレエ団で踊る。その他、バーミンガム・ロイヤル・バレエ、ウィーン国立バレエ団、 ハンガリー国立歌劇バレエ団、 クレムリン宮殿バレエでもプリンシパル・ダンサーを務め、ブッシュ元大統領やクリントン元大統領、ゴルバチョフ元大統領の前でパフォーマンスをした経験がある。また、世界中の国際バレエコンクールでの受賞歴もある。振付家としてもその実力を発揮し、2008 年の YAGP では優秀振付家賞を授与される。アメリカの Configuration Dance Theater のレジデンス・コレオグラファーとなり、アントワープ王立バレエ・スクールの芸術監督および主任振付家を務めた。2014 年、東京に移住し、アーキタンツで振付家やマスター・ティーチャーとして活動し、アーキタンツ・トレーニング・プログラムのシニア・マスター・ティーチャーを務める。

振付家、ダンサー

竹内 春美　　Harumi Takeuchi

12 歳よりクラシックバレエを学ぶ。2003-2005 年、オーストラリア・ナショナルシアターバレエスクールに留学し、在学中コンテンポラリーダンスに出会う。2010-2011 年、文化庁新進芸術家海外研修制度により、ドイツ・ヘッセン州立ヴィースバーデンバレエ（芸術監督：Stephan Thoss）に派遣され、ダンサーとして研修をする。2012-2019 年、ドイツ・レーゲンスブルク劇場ダンスカンパニー（芸術監督：森優貴）にて、ソリストとして、森優貴、Stephan Thoss、Felix Landerer、Marina Mascarell、Fabien Prioville、Ihsan Rustem、Guiseppe Spota らの作品に出演する。退団後活動の拠点を日本に移し、現在、佐々木三夏バレエアカデミー、Angel R、洗足学園大学などでコンテンポラリーダンスの指導にあたりながら、振付家、ダンサーとして活動している。

YGP2022 日本予選スタッフ

■ YAGP 芸術監督／共同創設者	ラリッサ・サヴェリエフ		ゲナディ・サヴェリエフ
■ YGP2022 日本事務局			
スカラシップ・チーム　ディレクター	川西 晴子		
事務局長	石井 千春		
事務局補佐	吉岡 泰子		
スカラシップ・チーム	中島 美和	長谷川 千帆	スウィリー 尚美
	川西 恵理	高橋 早紀	
■ 舞台監督	伊東 昌彦 (M.S.U)		
舞台監督補佐	渡邊 志穂	豊崎 由加	
■ 音響	敷田 秀樹 (ミクサージュ)		林 亜紀子 (ミクサージュ)
■ ピアニスト	平井 美加	徳岡 あかね	星 美和
■ 通訳／アナウンス	岡田 優子	長田 沙織	椿井 愛実
	山本 奈那	山﨑 南美	太田 紫乃
	高橋 睦子		
■ 写真	スタッフ・テス (株)		
	谷岡 秀昌	松澤 綾子	高橋 大輔
	渡辺 忍		
■ ビデオ／映像配信	(株) ワビック		
■ ウェブサイト	合同会社 イングルウッド		
■ シニア女性予選審査　協力ダンサー	飯島 望未 (K バレエカンパニー プリンシパルソリスト)		
	本田 千晃 (スロバキア国立劇場バレエ団)		
	藤原 青依 (ヒューストン・バレエ団)		
	佐々木 夢奈 (佐々木美智子バレエ団)		
	岡野 祐女 (ポーランド国立バレエ団)		
	佐々木 須弥奈 (英国ロイヤル・バレエ団)		
	橋谷 美香 (元ジョフリー・バレエ スタジオ・カンパニー)		
	伊東 葉奈 (Etsuko.BALLET School)		

YGP2023 日本予選開催日

2022 年 10 月 18 日 (火)～10 月 23 日 (日)

会場：兵庫県尼崎市　あましんアルカイックホール、アルカイックホール・オクト

Youth America Grand Prix

日本国内でのお問い合わせ：**YGP 日本事務局**

〒107-0062 東京都港区南青山 3-15-9 Minowa 表参道 3F

メール: info@yagp.jp

ウェブサイト: https://www.yagp.org/japan/

Twitter: @YAGP_JAPAN　Instagram: @yagpjapan

Facebook: Youth America Grand Prix – Japan